

< 2面 >

第100回全国高校野球選手権記念青森大会 チーム紹介

八学
光
星

攻守盤石 V候補筆頭

優勝候補の筆頭だ。強力打線は例年以上。長南、東、但井のクリーンアップで得点したい。絶対的エースの福山は変化球の切れに磨きがかかり勝負強さが増した。安定感が光る

長南 佳洋主将
右腕中村に加え制球力にたける2年の後藤も控え、攻守で盤石の体制が整った。

①準優勝②県3位・東北2回戦③県優勝・東北4強



長南 佳洋主将

- 1 福山 優希③ 市川
 - 2 秋山 龍正③ 戸頭
 - 3 但井 智哉③ 岩美
 - 4 近藤 俊太③ 秋葉
 - 5 下山 昂大② 弘前四
 - 6 武岡 龍世② 鴨島一
 - 7 東 健太郎③ 上野芝
 - ⑧ 長南 佳洋③ 安積
 - 9 矢野 虎弥③ 大窪大付
 - 10 中村 優惟③ 長内
 - 11 後藤 丈海② 城陽
 - 12 松谷 隆誠③ 藤井寺
 - 13 近藤 遼一② 桜井西
 - 14 島袋 翔斗② 古蔵
 - 15 豊田 勝利③ 茨木南
 - 16 伊藤 大将② 寝屋川九
 - 17 北林 英治③ 土山
 - 18 吉田 和永③ 松原六
 - 19 大江 拓輝② 若江
 - 20 成田 太一③ 玉手
- ▷監督 仲井 宗基(48)

Aブロック

Bブロック

< 3面 >

八学
野
西

投手陣2人は速球誇る

春の県大会以降、実戦的なバッティング練習に取り組み、打撃力をアップ。長打のある中軸の白石健、館を中心として切れ目ない打線となった。投手陣は、共に140キロ台を誇る久

坂本 塁主将
保田、松山の二枚看板。目の前の1試合を確実に勝ち抜くことを目標に掲げる。

①2回戦②県1回戦③県2回戦



坂本 塁主将

- 1 久保田大陸③ 東北
 - 2 白石 健晟③ 上北
 - 3 松山 空良③ 野辺地
 - 4 金浜 龍馬③ 野辺地
 - ⑤ 坂本 塁③ 泊
 - 6 細井 健人② 東北
 - 7 館 宏典③ 百石
 - 8 佐々木 廉③ 奥戸
 - 9 田沢 亮③ 北稜
 - 10 松山 晋也③ 天間館
 - 11 陸川 智幸③ 横内
 - 12 小原 誠② 三沢一
 - 13 佐々木駿介② 五戸川内
 - 14 佐藤 拓弥① 三戸
 - 15 白石 大① 上北
 - 16 細越 楓斗① 横浜
 - 17 菅野 将輝② 白銀南
 - 18 村上 央弥② 野辺地
 - 19 成田 一稀② 泊
 - 20 塚根 愛瞳② 下長
- ▷監督 寺嶋 恭祐(27)

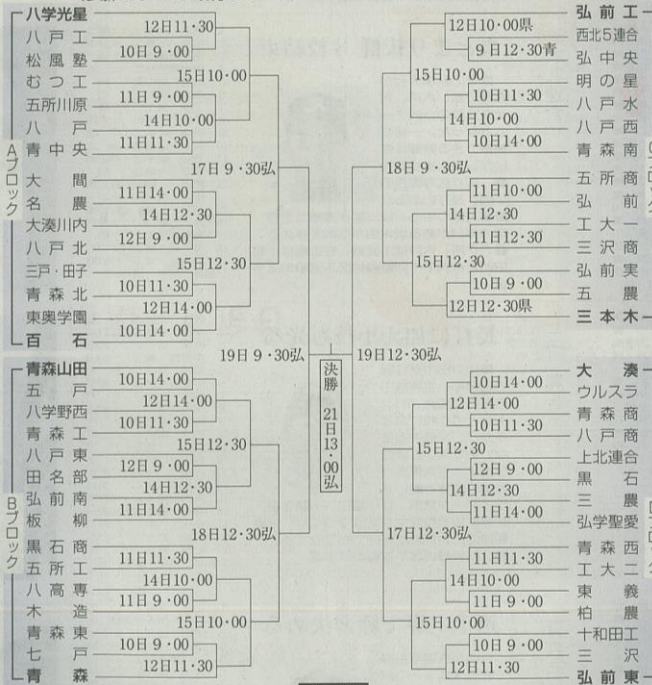
第100回全国高校野球選手権記念青森大会

ブロック別展望

59チーム激突

第100回全国高校野球選手権記念青森大会組み合わせ

(参加59チーム 太字はシード)



2年ぶりの甲子園出場を狙う八学光星の実力が頭一つ抜けている。春の県大会で8強に躍り、勢いのある百石を筆頭に、古豪の八戸、地方のある青森北らの奮起に期待したい。

八学光星は、主将の長瀬佳洋を中心とした中軸に加え、2年の下山昂大、武岡龍也ら内野手陣も攻撃センスが高く、ヒグイニングで一気に勝負を決められる。春季県大会は、全試合で6点差以上を付けて勝利。「猛打・強打の光星」を体現するチームとなった。投手陣は、昨夏の県大会決

Aブロック 強力打線の光星リード

勝に登板し、悔しい思いをこらした右腕福山優希が奮闘に燃える。

百石は、バッテリを含む昨夏の主力が残っており、経験豊富。春季県大会では、4強の青森と互打戦を展開。8-11で敗れたが、強力打線を印象付けた。

同ブロックには大湊川内、三戸、田子の連合のチームも入った。大湊川内は八戸北、三戸、田子は青森北と初戦でぶつかる。県南勢での初戦はほかに、大間が主軸と、八戸工が松風とぶつかる。八戸工が五所川原と対戦する。

Bブロック 青森山田に実力校挑む

2年連続の甲子園出場を目指す青森山田に、春季県4強の青森、秋季県4強の八高専が挑む構図。秋季県8強の五所工、春季県16強の八学野西ら実力校も追い掛ける。

青森山田は、昨夏の甲子園を記録した赤平竜太、中澤樹希也、白鳥航大がチームの核。特に、甲子園で3本塁打を打った中澤は不動の主砲として快音を響かせる。期待が集まる。投手陣は右腕福山優希、左腕平沼海斗の2年生コンビが相手打線を立ち止らせる。初戦で五戸と対戦する。

Bブロック 青森山田に実力校挑む

侮れないのは八高専。主戦で4番打者の園球朗を中心に、堅実な野球ができる。園は球威のある直球が魅力の好投手。打つても長打のあるチームの支柱だ。

ホームランバッターの赤澤海斗、出塁率の高い麦沢祐人ら役者もそろい、大会を通じて一皮むければ、上位進出もあり得る。初戦は木造と激突。

八学野西は、今春けから復帰した右腕久保田大陸の投球に期待したい。初戦の相手は青森工。八戸東は田舎部と、七戸は青森東と対戦する。

県8強、16強の常連がそろい、激戦のブロックとなった。実力差が少ない分、選手個人の好不調や、好機の一フレーが勝敗に大きな影響を与えそう。春季県3位の弘前工や、工大一、上北地方の強豪・三本木や三沢商があり、1点を争う好ゲームが期待できる。

弘前工は、本塁打を量産する長打力が売りの一つ。春季県大会では計り本塁打を放った上、三沢との2回戦ではサヨナラ本塁打も飛び出すなど勝負強さも身に付いている。

工大一は、最速143km/h

Cブロック 強豪校ひしめく激戦区

の本格派右腕の印井龍介と右下手投げの軟投派和田楓雅の二枚看板で打線を手玉に取る。打線の爆発次第で、ノースードから頂点を狙える。初戦の三沢商戦は1回戦屈指の好カード。

三本木は、右下手投げの主戦長谷地航に注目。緩急を使い分けた投球で勝負する。実力校の八戸西も、虎視眈々と上位進出を狙う。

八戸水は明の星とぶつかる。9日の開幕試合は、西北5連合(鯉ヶ沢、木造深浦、金木、鶴田、浪岡)―弘前中央となった。

Dブロック 弘前2強に大湊や三沢

秋、春の県大会準Vの弘前東と、昨夏4強の弘学聖愛の「弘前2強」を中核とした戦いになりそうだが、三沢の強豪・大湊や古豪の三戸にも地力十分があり、混戦構図だ。

弘前東の主砲松尾佑希は、大会屈指の強打者。独特の打撃フォームから飛び出す一発の長打が、何度もチームを勝利に導いた。昨夏も主力の種市義水、長濱輝の二遊間コンビは攻守で安定しており、チームの要だ。主戦の澤田吉伸も安定した投球で試合をつくる。

弘学聖愛は、主戦の長久

Dブロック 弘前2強に大湊や三沢

保城成、長尾凌太ら勝負できる左右の投手がそろい、層が厚い。打線も手堅く得点できる。秋、春と満足な結果を残せずにいるが、頂点を狙える位置にいる。

三北から甲子園を目指す大湊、最速143km/hの右腕鯉沢岳司を擁する三沢の躍進にも期待したい。大湊がウスラと、三沢が十和田工と初戦で当たる。

八戸商は青森商との商業校対決。三層は弘学聖愛に挑む。工大一が青森西とぶつかる。野辺地、六戸、六ヶ所による上北連合は、黒石と対戦する。